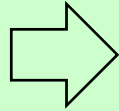


事業を契機に飼料作物栽培を導入、コントラクターとして地域の担い手へ

経営体の概要

事業実施前 基幹作物: 水稻
(平成11年) 経営面積: 20ha



事業実施後
(平成20年)

基幹作物: 水稻、飼料用稲、
飼料用とうもろこし
経営面積: 49ha

取組の経緯と営農転換のポイント

国営事業の大通川放水路関連のほ場整備により、地区内の水田が大区画に整備されたことを契機として、平成12年から水稻のほか、地区内の酪農家と連携して、飼料用稲の栽培を開始した。

また、水稻収穫後の稲わらを収集し、他地域の肉用牛農家へ販売するとともに、稲わら収集による地力低下を防ぐため、堆肥散布を行うなど、土作りにも努めている。

営農改善のポイント

①作物の変化

大区画ほ場整備と暗渠排水等の整備により、水稻単作から、大型機械を活用した飼料用稲や飼料用とうもろこし等の栽培が可能となり、作業の効率化及び所得の向上が図られた。

地区内では、生産調整として飼料作物を導入し、その生産を担うコントラクターとして耕畜連携に寄与している。



堆肥散布

②栽培技術の確立・向上

酪農家との連携により堆肥散布による土づくりを行っており、地域平均よりも一等米比率をく保っている。

また、平成20年度からは一部の水田において無農薬・有機質肥料100%の米づくりの取組を開始している。



無農薬・有機質肥料

③流通・販売の工夫

堆肥を活用した土づくりにより、平成20年度から栽培を開始した無農薬・有機質肥料100%の米について、付加価値を付けて販売している。



有機質米

事業概要

事業種 国営かんがい排水事業
関係市 新潟市、燕市、弥彦村
受益面積 20,190ha
事業期間 昭和55年度～平成15年度
事業目的 かんがい排水、農地防災排水
主要工事 排水機場、排水路改修



<問い合わせ先>

北陸農政局 農村計画部
資源課 営農指導第1係
TEL:076-232-4533
(内線:3454)

(20年調査時点)